

暮らしたい様に暮らしたい

～「住みたい所に住みたい」本人たちの力を信じて～

【キーワード： 自己決定・自己選択】

所属 みどりハイツ サビ管 片貝 里絵
うぐいす 相談員 奥野 桂

1. みどりハイツ概要

平成 24 年 4 月 1 日開所



現在 12 名

本体 10 名 + サテライト 2 名

知的・精神・身体・発達の障害ある方が現在生活を行っています

2. サビ管変更

平成 29 年 2 月に開所よりサビ管を行っていた職員が急きよ退職となり、相談員だった「奥野」がサビ管に「片貝」がバックアップと体制変更を行った。相談員として業務を行うため兼務でのスタートとなる

3. サビ管初業務

11 名の利用者さんとの面談

1 人 1 人時間をかけ話を聞く。

みどりハイツでの生活で満足している方もいる中、11 名中 4 人がみどりハイツを出たいと希望あり。ここから私たち 2 人の珍道中が始まります

4. 利用者さんとの面談では

みどりハイツにいるしかないと諦めていた一度一人で生活をして失敗しているので家族が反対するので仕方ないが諦めていた本当は GH に来たくなかったが自分の意思が通らなかつた etc・・・

など涙ながらに訴える利用者さんもいました

5. 一人暮らしに必要な条件

掃除ができる・料理ができる
買い物ができる・お金の管理ができる
火の始末ができる・仕事にいける・など

6. この条件は本当に必要

料理出来ない→ヘルパーさんと一緒に作る
配食サービスを使う
掃除できない→ヘルパーさんと一緒に行く
火の始末出来ない→電化製品のみのお金
お金の管理できない→出来る範囲内で渡す

7. 近年のみどりハイツの入居・退去状況

H29. 3 知的 40 代男性 会社の 1 室を間借り退去。

6 ヶ月後民間アパートにて独居開始

H30. 2 知的 20 代男性 自宅に戻り退去

H30. 2 知的 30 代男性 GH 入居

H30. 3 知的 50 代男性 サテライト退去
民間アパートにて独居

H30. 3 知的 40 代男性 GH 退去。

民間アパートにて独居（隣町に行く）

H30. 3 精神 30 代男性 GH 入居

H30. 4 知的 10 代男性 サテライトに入居

H30. 4 サテライト 2 室目を契約

H30. 5 発達 10 代女性 サテライトに入居
初の女性入居

H30. 8 知的 50 代男性
体調悪く入所施設に移動

H30. 9 知的 10 代男性 サテライトから
本体に移動

H30. 10 精神 60 代男性 本体から

サテライトへ移動（一人暮らしの練習）

H30. 11 精神 20 代男性 GH 入居

8、事例報告

① 知的 40代男性 GH卒業ストーリー
細身の喘息持ち・いつもマスクを2枚重ね
注意欠陥の傾向あり。彼の出来る・出来ない
こと探し、彼の思いも聞く。「どうしても職
場近くのレオパレスに住みたい」信頼して
いる相談員と生活の組み立てを始め、アパ
ート見学・契約・家電購入・引っ越しの手伝
いを行う。

② 精神 10代女性 ハイツ初の女性入居
精神科からGHサテライトに入居。左手足に
リストカットの傷多数あり。入居当初は「さ
みしい・不安」と泣いて電話してくる毎日。
そんな彼女も生活が安定し、ステップアッ
プで就職活動開始。まだまだホット出来る
日は遠い

③ 知的 60代男性 一人暮らしに向けて
GH開所より入居しているすーさん。どうし
ても一人暮らしがしたい思いが強く、不安
要素がたくさんある。面談を繰り返すが、彼
の思いは変わらず、ついに一人暮らしに向
け今年の4月より動く。
まず行ったことが「成年後見人制度」の手続
きだ。役場との面談・診断書申請のための精
神科同行など・・・やっとゴールが見えてき
た、が最近嬉しさと不安さで少し元気がな
くなってきている。年明けにはアパート見
学に行く予定。

④ 精神 20代男性 高校入学物語
H30.11 GHに入居（生保）精神科に入院し
ていた彼は入院中から面談を行い、高校入
学の思いを聞いていた。入居前から外出を
利用し高校見学に同行なするなど、関係作
りを行ってきた。
入居後は入試希望の高校も決まり現在受験
勉強真っ只中
入居前から家庭教師（ボランティア）を探し、現
在は週4回勉強を教えて貰っている
生活が乱れることが不安の為平日の日中は
地活を利用し自主勉の日々を送っている。

9. 相談との連携

同一法人内に相談支援センター「うぐい
す」があり、GH利用者さんの計画相談は裾
野市以外も行ってもらっています。
みどりハイツ入居＝うぐいすが相談の形作
りを行う。
事務所が一緒のため常に情報交換ができ
面談を一緒に行うことでスピーディーに対
応できている

9. 課題

成年後見の手続きのタイミング
長期利用の利用者さんがハイツの雰囲気
に慣れず落ち着かない
世話人さんの仕事内容が負担にならないよ
うする為サビ管の業務が増えてしまう
世話人・宿直の定着
課題があったとしても、土地柄・地域・環境
・人に恵まれているため、今までに困り立
ち止まってしまうことがなかった気がしま
す。

最後に

生活する人はその本人。
その人が希望する心地よい暮らしができ
ないから問題をおこすのではないか。
一人暮らしは本人にかかる責任は重くなる
（ある程度の責任（負荷）も生活を送る上
では必要なことではないか
出来ないことがあっても環境を整えば生活
は出来る

